

【法人情報】

(令和6年2月1日現在)

法人名	社会福祉法人 みぬま福祉会		法人設立	1985年(昭和60年)10月	
代表者	理事長 高橋 孝雄	連絡先	048-294-0955		
法人所在地	川口市木曾呂1374	メール	minuma-saiyou@minuma-hukushi.com		
		HP	https://minuma-hukushi.com/		
法人理念	1. 奥南各地のどんな障害をもっていても、希望すればいつでも入れる社会福祉施設づくりをめざします。 2. 入所者は障害の種類や程度、発達段階等が充分考慮され、一人一人のニーズに応じた生活、労働、教育、医療が受けられ、ともに生きる「仲間」として、その自主性が尊重され、人権が最大限に守られるような社会福祉施設づくりをめざします。 3. 社会福祉施設は、その地域の中に存在し、その地域とともによりよい社会づくりをめざし、入所者は地域の人々と助け合いながら、ともに生きることをめざします。		代表者より一言	障害がある人たちの暮らしや労働の中で発見した価値が、社会の価値として、社会のあり方に影響を与えるものになることを願っています。	

【運営施設・事業所等】

施設・事業所名	提供サービス	所在地
大宮太陽の家	生活介護事業所	さいたま市見沼区染谷3-356
川口太陽の家	生活介護事業所	川口市木曾呂1374
はれ	障害者支援施設、生活介護事業所	川口市木曾呂1078-1
オレンジホーム	グループホーム	川口市木曾呂205-2
川口市障害者短期入所施設しらゆりの家	短期入所事業	川口市朝日3-16-14
大地	障害者支援施設、生活介護事業所	蓮田市黒浜1045-1
シャイン	児童発達支援事業	蓮田市黒浜1045-1 大地内
久喜市地域活動支援センターたいよう	地域活動支援センター	久喜市青毛753-1 ふれあいセンター久喜内
白岡市障害者デイサービスセンター	日中一時支援事業	白岡市千駄野445 保健総合福祉センターはびすしらおか1階
太陽の里	障害者支援施設、生活介護事業所	白岡市小久喜450
白岡太陽の家にじ	生活介護事業所	白岡市西2-18-6
蓮田はずの実作業所	生活介護事業所	蓮田市川島608-1
ケアホームサンライズ	グループホーム	蓮田市蓮田5-135 C-101
川口市障害者相談支援センターみぬま	相談支援	川口市木曾呂1374
さいたま市大宮区障害者生活支援センター みぬま	相談支援	さいたま市大宮区東町1-141-6 第2吉田ビル1F
さいたま市北区障害者生活支援センター みぬま	相談支援	さいたま市北区宮原町2-62-17
埼玉北障害者生活支援センター たいよう	相談支援	白岡市新白岡7-14-14
埼玉北地区基幹相談支援センター トロンコ	相談支援	白岡市千駄野445 保健総合福祉センターはびすしらおか1階
埼玉北障害者地域生活支援拠点オリバ	相談支援	白岡市千駄野445 保健総合福祉センターはびすしらおか1階

【給与・勤務条件】

給与	大卒204,740円～、短大・専門卒185,000円～	賞与	年2回支給(6月・12月)	退職金制度	有
福利厚生	各種社会保険完備(雇用・労災・健康・厚生年金)	休日・休暇等	変形労働時間制、年間休日105日、有給休暇20日		
研修教育	新任職員研修、発達保障研修、実践検討集会等	各種手当	通勤手当、住宅手当、休日勤務手当、時間外勤務手当、特殊勤務手当、主任手当、夜勤手当、夜勤従事者手当等		

こんな仕事をしています



職種

生活支援員

5年目

仕事の内容

私は入所施設に勤務をしています。仲間の暮らし・仕事・余暇の面でサポートを行っています。食事・入浴・トイレ・着替え・夜間の見守りなどの“暮らし”、表現活動や農作物の生産、焼き菓子製造をサポートする“仕事”、長期休みのイベントや週末の楽しさを考える“余暇”どの活動においても仲間と一緒に考え進めていく事を大切に仕事をしています。

1日の流れ

月	火(早番)	水(遅番①)	木(遅番③)	金(夜勤)	土(明け)	日
休日	7:30 朝食介助 歯磨き・整 排泄				6:00 離床介助 7:30 朝食介助 申し送り 9:00 退勤	休日
	10:00 日中活動(仕事)					
	12:00 昼食介助 休憩		12:15 昼食介助 排泄			
	14:00 日中活動(仕事)					
	16:15 退勤	16:00 入浴介助	16:00 休憩	16:00 申し送り		
			17:00 夕食準備	17:00 夕食介助		
		18:00 夕食介助・歯磨き	18:00			
		18:45 退勤	19:00 入浴介助 入床誘導	19:00 リハビリ		
			21:00 退勤	21:00 入床誘導・消 記録・清掃		
				1:00 巡回		
			4:00 休憩			

【法人PR】



ともに働き、ともに生活し、
ともに地域に作っていく「仲間」
同じ時代をともに生きる「仲間」として
歩んでいきたい。
私たちは、施設に通い、施設で暮らして
いる人たちのことを「仲間」と呼んでい
ます。

みぬま福祉会の仕事は「クリエイティブ」

福祉は、人と関わる仕事です。
声色や、ささいな表情から気持ちを読み取ったり、
何もせず、ただ仲間の隣に座ったり。
効率を優先しマニュアルを見ただけでは答えの出ない
とてもクリエイティブな仕事だと考えています。
気持ちが通い合うことで、仲間だけでなく、
職員自身も変わっていく。
それこそが、この仕事の醍醐味です。

社会と仲間たちの懸け橋となる
存在でありたい

入職2年目 Sさんの話

「どんなに障害が重くとも働ける。働くことは権利である」
仲間のやりたいこと、自分らしさを表現できることを
仕事にしています。
仲間の絵が街中に飾られました。通りがかった人が
「素敵だね」「この絵きれい！」と言ってくれまし
た。写真を撮ってくれる人も。
仲間の作品を通して、社会と仲間たちの懸け橋になる
こと、仲間が評価されることは職員の喜びです。

豊かな暮らし、その人らしい暮らし方を

入職5年目 Oさんの

話

すべての施設で一貫している想いは「当たり前の暮らしをつくる」ということ。仲間と共に、笑ったり泣いたりしながら、人生を豊かに過ごす場所をつくっています。

高齢になり機械浴でないと入浴できない仲間。元々お風呂が苦手な人でした…。湯船に入り入浴剤を入れ、頭にタオルを乗せるとすごく良い表情で笑ってくれました。リラックスしてくれたのかな…とうれしくなりました。その時の笑顔が忘れられません！！

